

## Feature Articles

## 5 オンラインライブ最前線

- 6 ロフトプロジェクト
- 8 MUSIC/SLASH
- 10 フラッグ
- 12 オンラインライブプラットフォーム一覧

グローバルニュースチャンネルの  
コロナ報道

- 14 BBCワールドニュース 16 CNNj

## Close-up Channel

- 18 CS日本

## Special Report

- 32 「APSCC 2021」バーチャル会議〈2〉 取材・文/神谷直亮

## Special Topics

- 20 時代劇専門チャンネル『鬼平犯科帳』『仕掛人・藤枝梅安』映画化決定
- 54 CRIプラス+ 「ICTVスマイル農場」オンライン視察会

## New Series

- 31 5G Trends「2021年、5Gはプレミアムでなくなる」  
取材・文/水上貴博(情報通信総合研究所)
- 63 料理研究家 吉原ひろこのラクールcooking「@いう間の“ギョーザパスタ”」  
レシピ&文/吉原ひろ子

## Series Articles and Columns

- 22 放送ビジネスの政治経済学 ④ 文/音好宏
- 24 メディア・リサーチ「春改編にみるテレビ局の方向性」文/鈴木祐司
- 26 メディアまんだらげ ②④ 「CS専門チャンネルの料金比較から得たもの」取材・文/猪股英紀
- 36 地産飛翔〜ケーブルビジネス関連動向  
(気になるトピック / 機器チェック!)
- 40 アジア衛星TV最新情報 ②⑦ 文/長瀬博之
- 42 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
- 48 考えるメディア ②⑦ 文/福田 淳
- 49 ワハハ本舗 喰始のエンターテインメントのツボとボツ ④① 文/喰 始
- 50 Official Information  
日本ケーブルテレビ連盟/日本CATV技術協会/日本ケーブルラボ/CRI
- 53 Information 新作映画紹介 & Convention
- 55 NEWS FILE 2021年3月5日~3月30日



## セミナー情報

## サテマガBiオンラインセミナーのご案内

- 13 『総務省接待問題はなぜ起きたのか? 明るみになった通信・放送行政の根深い歪み』  
講師:砂川浩慶氏 立教大学 社会学部 メディア社会学科 教授
- 21 『オリジナルを作り続ける「時代劇専門チャンネル」の勝算』  
講師:宮川朋之氏 日本映画放送(株) 執行役員 編成制作局局長

## DATA

- 34 CS-CHANNEL RANKING
- 64 定期購読のおすすめ 65 購読オーダーシート 66 Back Number

## 〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSバイテレビ接触率ランキングなどの掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載しておりませんが、2021年4月10日に弊社HP (<http://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2021年4月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子/編集長 池和田一里



有料放送&amp;VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊



## メディア融合時代到来!

## 【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音好宏(上智大学教授&amp;多チャンネル放送研究所所長) 編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて

## CLOSE SHOT

時代劇専門チャンネルなど3社が国民的人気作品の新作へ  
令和の時代に誕生する  
『鬼平犯科帳』『仕掛人・藤枝梅安』製作発表

3月12日、新聞各紙の朝刊に[池波正太郎原作 鬼平犯科帳 仕掛人・藤枝梅安 映画化決定/本日13時~五代目「長谷川平蔵」新たな「藤枝梅安」に挑む、主演俳優2名を発表]と大きく書かれた全面広告が掲載された。——数々の名優が演じてきた「鬼平」と「梅安」、その新作映画が令和の時代に誕生する。「そんな重責を担う俳優はいったい誰なんだ?」——と、考えをめぐらせた人も少なくなかっただろう。

徹底したコロナ対策のもと、都内・帝国ホテルで行われ

た製作発表会見では、NTTぶらら、スカパー!とともに製作メインパートナーに名を連ね、「鬼平犯科帳」劇場版ではメガホンをとる「時代劇専門チャンネル」(日本映画放送(株))の杉田成道社長(写真右端)が冒頭、「時代劇は、独特の倫理や価値観、美意識など、日本人の人生の機微を表現する芸術的なジャンルだと考えている。世代を超えて愛されてきた両作品のバトンを、大人の苦みが匂い出てくるような得難い2人の俳優さんに受け



取ってもらえることになった。ここで紹介できることは大きな喜び」と挨拶した。そして期待感が高まる中、大きなスクリーンをバックに2人の名優がそれぞれ登場した。五代目「鬼平」松本幸四郎、新たな「梅安」豊川悦司である。詳しくは本誌p20「SPECIAL TOPIC」をご覧ください。